

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	全員
教科書・副読本 『精選論理国語』（数研出版）									
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 思考力・判断力・表現力 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを深めることができるようにする。 主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めると共に、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					知識・技能 定期考査 思考力・判断力・表現力 定期考査 主体的に学習に取り組む態度 課題考査・小テスト 課題の取り組み、授業の取り組み等				
期間	単元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント					
1 学期	① 文学 ・ 超えていく翻訳 ピーター・バーナード ② 思想 ・ 学問の政治性 隠岐さや香 ③ 情報と知性 ・ 生命の知性 森田真生 ・ 人と共にある図書館 の未来は明るい高橋 真太郎 ・ 図書館と「ものがたり」 嶋田学			・ 意味段落ごとの内容を正確に押さえ、本文全体の論旨の理解につなげる。 ・ 主張とその前提について理解する。 ・ 比喩表現や言い換え表現により意味するところを明確にし、文脈を丁寧に把握する。 ・ 文脈をたどることで、筆者のメディアに対する論を理解し、メディアとの向き合い方を考え、発表する。 ・ 二つの文章を読み、筆者の主張を比較し、さまざまな視点を理解する。 ・ さまざまな仮説と検証を経て、筆者の主張を導く論理展開を把握する。 ・ 筆者の主張を通して、労働の意義や社会のありようを考え、発表する。					
	④ 環境と人間 ・ 意志と選択 國部功一郎 ・ 環境と心の問題 河野哲也 ⑤ 思索の深化 ・ 顔の所有 鷺田清一 ・ 無常ということ 小林秀雄 ⑥ 考えの表出 ・ 人はなぜ働かなくてはならないのか 小浜逸郎			・ 言い換え表現を手がかりにすることや各段落の関係を的確に把握することを通して、抽象的な思考の筋道を明らかにする。 ・ 「意志」と「選択」の違いを把握し、筆者の主張をまとめる。 ・ 本文の構成を把握し、各段落の要旨と段落どうしのつながりを押さえ筆者の考えるエコロジーの真の意味について理解する。 ・ 筆者の主張を踏まえ、近代科学に対する考えを発表する。 ・ 現象学的な思考に裏打ちされた難解な文章に向き合うにあたり段落ごとのキーセンテンスを見出し、論の展開を押さえ、筆者の主張を理解する。 ・ 一つ一つの表現を丁寧にたどり、筆者独特の表現や論の展開を学ぶ。					
3 学期	⑦ 考えの表出 ・ 本歌取り 長田和宏			・ 例と論の関係性を踏まえながら、筆者の主張を読み取る。 ・ 模倣と創造という芸術のありかたについて考えを深める。					
履修条件・注意事項等		【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 ● 3年1月考査は実施しないこととする。 【評価母集団】 3学年全員							

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 ●3年1月考查は実施しない。 【評価母集団】3学年（文系・国際教養コース）
----------------	---

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 ●3年1月考査は実施しない。 【評価母集団】3学年（理系）
----------------	---

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1 学期	『ナイン』 『クリーム』 村上春樹 『檸檬』 梶井基次郎 『野火』 大岡昇平	・ 多数登場する人物の背景や思いを読み取り、時間の流れによって変化したものとしなかったものを見分ける。 ・ 情景描写の持つ効果に留意しつつ、登場人物の心情の変化と物語のメッセージ性を読み解く。 ・ 主人公の思考や行動に見られる青春期の特質を理解する。 ・ 主人公がどのようなものを「美しい」と考えているかをつかみ、自分にとって「美しいもの」を追究する。 ・ 極限状態での複雑な心理を理解する。 ・ 作品の内容を理解し、登場人物の心情を読み取る。
2 学期	『件』 内田百閒 『赤い繭』 安部公房 『藤野先生』 魯迅	・ 「変身譚」の作品を読み、主人公の心情の変化を読み取る。 ・ カフカの『変身』と比べ読みをし、それぞれの主題を読み取る。 ・ 前衛的な発想と社会への鋭い批判精神を読み解く力を養う。 ・ 一つ一つの表現に隠された寓意を読み取る。 ・ 安定した評価を持つこの作品を通して、外国文学を鑑賞する方法を学ぶ。 ・ 登場人物を取り巻く時代背景や社会状況を踏まえ、登場人物の考え方やものの見方を理解する。
3 学期	『掟の門前』	・ 世界中の文学に影響を与えた文学作品に触れ、その普遍性を読み取る。

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 ●3年1月考査は実施しないこととする。 【評価母集団】3学年（文系・国際教養コース選択者） 2学年において選択した者は、継続して必ず履修すること。
----------------	---

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 ●3年1月考査は実施しないこととする。 【評価母集団】3学年選択者（文系・国際教養コース）
----------------	---

教科	国語	科目	古典研究	単位数	2 単位	学年	3 年	履修対象	文系・LAC 選択者
教科書・副読本									
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 古典の文章を的確に読解する能力を養う。古典の知識や技能を身に付けるようにする。 思考力・判断力・表現力 古典作品を読み、ものの見方・感じ方・考え方を広げ、古典についての理解を深める。 主体的に学習に取り組む態度 古典作品について調べたことを発表し、作品の価値を自ら考察する。						知識・技能 定期考査 思考力・判断力・表現力 定期考査 主体的に学習に取り組む態度 授業態度 グループワーク、発表 提出物			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	和歌の修辞技巧 歌物語 『伊勢物語』 『大和物語』		- 和歌の修辞技巧の基本的知識を理解する。 - 歌物語というジャンルへの理解を深め、興味・関心を高める。 - 贈答歌を含む本文を読解し、贈答歌についての現代語訳を作成する。 - 古典作品の文脈理解における和歌、贈答歌の重要性を理解し、興味・関心を高める。						
	日記文学 『更級日記』 『和泉式部日記』 『蜻蛉日記』 『十六夜日記』		- グループの中で個の担当箇所を明確にし、個人でレポートを作成し、グループで発表する。 - 中古・中世の日記文学への理解を深め、興味・関心を高める。 - 当時の結婚や恋愛のあり方、価値観を理解し、人物の心情を読み取る。 - 贈答歌を含む本文を読解し、贈答歌についての現代語訳を作成する。						
2 学期	『源氏物語』		- 興味のある章段についてグループで研究・発表する。 - 個人の担当箇所を明確にして、各種資料を生かしてレポートを作成するとともに、贈答歌についての現代語訳や場面の解釈についてはグループで検討して発表する。 『源氏物語』への理解を深め、興味・関心を高める。 - 複雑な人間関係を理解し、登場人物の心情を読み取る。						
3 学期	『源氏物語』 『平家物語』 諸家の文章など		- 各自が興味・関心のある題材を選び、贈答歌についての現代語訳を作成し、各種資料を活用してレポートを作成する。 - 作品の生まれた時代背景について理解し、そこに描かれた人物の行動や言葉を通じて現代に生きる我々のあり方を考察する。						

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 ● 3 年 1 月 考査は実施しないこととする。 【評価母集団】 3 学年選択者（文系、国際教養コース）
----------------	---

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 ●3年1月考査は実施しないこととする。 【評価母集団】3学年選択者（文系・国際教養コース）
------------	---

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	3単位	学年	3年	履修対象	理系
教科書・副読本		新詳地理探究(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)、 新詳地理資料COMPLETE(帝国書院)、新地理要点ノート(啓隆社)							
育成する資質・能力							評価の方法		
知識・技能 具体的な地域事例を示したコラム「地域を見る目」や学習内容に関連したテーマや新しい動きを紹介したコラム「深める」を利用して、世界各地の生活文化などの様々な地理的事象やその背景を理解する態度を身に付ける。							知識・技能 定期考査 提出物 小テスト		
思考力・判断力・表現力 持続可能な社会をつくるための取り組みを示した「持続可能な社会を目指して」を利用して、生徒自身の考えを持つ力を養う。日本の事例を豊富に取り上げ、日本と世界各地の地理的事象を比較・対照して現代世界が抱える諸課題への理解を深める。							思考力・判断力・表現力 発問評価・グループワーク・ 発表・報告		
主体的に学習に取り組む態度 最新の世界情勢や学術動向をより深く理解し、現代の世界と日本が抱える諸課題の解決に向けて、主体的に取り組む態度を身に付ける。							主体的に学習に取り組む態度 授業態度 提出物		
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	第1部 現代世界の系統地理的考察		世界の自然環境の基礎となる地形や気候について幅広い知識と教養を身につける。						
	第1章 自然環境		地域や気候の成り立ちに加えて、人間生活との関わりについて理解する際に自然の正の側面と負の側面の両面を比較しながら学ぶ。						
	地球環境と人間		自然環境と関わりが深い環境問題について、原因や分布の解説にとどまらず、解決への取り組みまでを追求する。						
	1節 地形		環境保全に向けて協力し、かつ、参画していくことの重要性を理解できるように工夫する。						
	2節 気候								
2 学期	3節 日本の自然環境								
	4節 地球環境問題								
	第2章 資源と産業		生産や貿易などの分布図を利用し、先進国と発展途上国を対比させるなど、地域的差異を幅広く捉える。						
	1節 農林水産業		食料や資源をめぐる問題など、現代世界が抱える課題について取り上げ、持続可能な社会を形成するために協力し、その発展に寄与する態度を養う。						
	2節 食料問題		国家間の結びつきや地域的な枠組みについての理解が深まるよう、最新の情勢や具体事例をもとに学習する。						
	3節 鉱産資源								
3 学期	4節 エネルギー問題								
	5節 工業								
	6節 第3次産業								
	第2部 現代世界と地誌的考察		現代世界が様々な指標によって地域区分できることに気づき、地域の概念や地域区分の意義を理解する。						
	第1章 現代世界の地域区分		世界の諸地域について、国・地域をバランス良く取り上げ、各国・地域の地形や気候などの自然環境や産業・宗教・民族・言語などの社会環境といった地理的環境から考察するための様々な視点を身につける。						
3 学期	1節 地域区分の意義と指標		日本の強みと持続可能な社会を実現するための課題を振り返り、将来の国土の在り方について、生徒自身が主体的に考える。						
	第2章 現代世界の諸地域		まとめた意見については、積極的に自治体などに提言することを踏まえて、社会参画する態度を養うよう努力する。						
	第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像								
履修条件・注意事項等		【観点別評価】 (知識・技能):(思考力・判断力・表現力):(主体的に学習に取り組む態度)=4:4:2 【評価母集団】 3学年理系 1月考査は実施しない。							

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	3単位	学年	3年	履修対象	文系選択者・L A C 選択者
教科書・副読本		詳説世界史(山川出版)、史料集、一問一答、教科書準拠ノート							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 世界の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料を活用する技能を身に付けるようにする。 思考力・判断力・表現力 世界の歴史について、現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、課題の解決を目指す力や、考察や構想、議論する力を養う。 主体的に学習に取り組む態度 世界の歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。						知識・技能 定期考査・課題考査・提出物・小テスト 思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・提出物・グループワーク 主体的に学習に取り組む態度 授業への取り組み・提出物 グループワーク・発表・報告			
期間	単元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント					
1 学期	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成			・ウィーン体制成立後の列強の関係について考察しつつ、 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄について理解する。 ・オスマン帝国の衰退による西アジア地域の変容や南アジア・東南アジアの植民地化、東アジアの激動について多面的・多角的に考察する。 ・第2次産業革命と帝国主義による世界分割について、アジア諸国の変革と民族運動との結びつきを意識しつつ、考察する。					
	第14章 アジア諸地域の動揺								
	第15章 帝国主義とアジアの民族運動								
2 学期	第16章 第一次世界大戦と世界の変容			・第一次世界大戦前後の世界の動きとアジア・アフリカ地域の民族運動について理解する。 ・世界恐慌から第二次世界大戦へ、また冷戦へと向かう世界について多面的・多角的に考察する。 ・冷戦の展開と第三世界の台頭について、今日の世界と結び付けて考察する。 ・産業構造の変容に伴う経済成長と冷戦の終結について理解する。					
	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成								
	第18章 冷戦と第三世界の台頭								
	第19章 冷戦の終結と今日の世界								
3 学期	地球世界の課題の探究			・課題の解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用する。					

履修条件・ 注意事項等	2年生からの継続履修である。 【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 3学年選択者（文系、国際教養コース） 1月考査は実施しないこととする。
----------------	---

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	3単位	学年	3年	履修対象	文系・L A C 選択
教科書・副読本		『詳説日本史』（山川出版社、日探705）、図説、史料集、ワークノート							
育成する資質・能力							評価の方法		
知識・技能 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。							知識・技能 定期考査・小テスト・提出物など		
思考力・判断力・表現力 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。							思考力・判断力・表現力 定期考査・小テスト・提出物・討議・発表など		
主体的に学習に取り組む態度 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。							主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、提出物・討議・発表など		
期間	単元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント					
1 学 期	第Ⅲ部 近世 第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化			・農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察する。 ・江戸中期に確立した洋学や国学、新たなかたちで展開する文学・芸能・美術について、社会の変容にともなう幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。 ・欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。 ・化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。					
	第Ⅳ部 近代・現代 第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足			・国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ・幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。					
	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立			・明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。 ・政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。					

2 学 期	第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制 第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化 第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	・東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。 ・ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。 ・日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 ・伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性をもって成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。 ・大衆文化の前提となる教育の普及・発展、マスメディアの発達について理解する。 ・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。
	第16章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和 第17章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ 第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容	・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれにともなう諸改革について、その経過と内容を理解する。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結して日本が独立した意義を考える。 ・独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。 ・朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 ・ドル＝ショックや石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を理解する。 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。
履修条件・注意事項等		2 学年からの継続履修である。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】3 学年選択者（文系、国際教養（LAC）コース） 1 月 考 査 は 実 施 し な い。

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2 単位	学年	3 年	履修対象	文系・LAC 選択者
教科書・副読本		『詳述 政治経済』（実教出版、政経702）、『政治・経済資料』（とうほう） 『詳述 政治経済 演習ノート』（実教出版、政経702）							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 選択・判断の手がかりとなる概念や理論、および政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解していると同時に、資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 思考力・判断力・表現力 政治・経済の諸課題について、事例を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 主体的に学習に取り組む態度 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、政治・経済の諸課題を主体的に解決しようとしている。						知識・技能 定期考査・課題考査・小テスト・提出物・討議・発表など 思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・小テスト・提出物・討議・発表など 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、提出物・討議・発表など			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	第1部 現代日本における政治・経済の諸課題 第1編「現代日本の政治」 第2編「現代日本の経済」 第3編「現代日本における諸課題の探究」		・ 国民主権や基本的人権の保障、平和主義など日本国憲法の基本的性格、また政治的無関心や地方自治における諸問題などについて理解を深める。主体的に追究・考察し、自らのものとしようとする。 ・ 現代日本の経済について、市場原理や企業活動、財政や金融などにおける現代の諸課題について理解を深め、経済活動の主体としてのあり方を考える。主体的に追究・考察し、自らのものとしようとする。						
2 学期	第2部「グローバル化する国際社会の諸課題」 第1編「現代の国際政治」 第2編「現代の国際経済」		・ 国際法の意義、国際連合の役割と組織、国際政治の動向と日本の役割、国際経済の動向や課題と国際協力の意義などについて理解を深める。主体的に追究・考察し自らのものとしようとする。 ・ グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容について、主体的に追究・考察し、国際社会における私たちの役割について考え、行動する姿勢を身につける。						
3 学期	第3編「国際社会の諸課題の探究」		・ 国際社会の諸課題について、その課題の所在や現状などについて理解を深める。諸課題について、資料を収集・選択、分析するなど主体的に追究・考察し、自らのものとしようとする。						
履修条件・注意事項等		【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4：4：2 【評価母集団】 3 学年選択者（文系、国際教養コース） 1 月考査は実施しないこととする。							

教科	地理歴史	科目	発展世界史	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系選択者・L A C 選択者
教科書・副読本									
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 歴史総合や世界史探究で学習した世界の歴史に関わる諸事象について、知識の量・質を向上させ、活用する技能を養う。 思考力・判断力・表現力 世界の歴史について、史料を読み解くことなどを通して多面的・多角的に考察したり、構想、議論したりする力を養うとともに、現代の課題に対する解決力の向上を図る。 主体的に学習に取り組む態度 世界の歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の尊厳を重んずることの大切さについて他国の自覚などを深める。					知識・技能 定期考査・提出物・小テスト 思考力・判断力・表現力 定期考査・提出物 主体的に学習に取り組む態度 授業への取り組み・提出物				
期間	単元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント					
1 学期	現代の諸課題についてのテーマ設定 ・パレスチナ問題 ・ウクライナ問題 ・地域紛争 ・領土問題 ・感染症問題 など 各テーマの概要をまとめて発表			・現代の諸課題についてテーマを設定し、グループもしくは個人で調べ、まとめ、パワーポイントで発表する。 ※5W1Hの観点から、全体像がわかりやすいようにまとめること。 ※史資料を活用し、海外の記事なども参考にするなど多角的なアプローチを試みること。 ・発表を受けて、他の生徒や教員から出された質問や、新たな発問、について個人で調べてまとめ、レポートを提出する。 ※史料や地図を活用し、課題の背景にある各地域の特徴（周辺国との関係、気候や産業など）にも着目すること。 ※「なぜ」そうなったのか、ということに重点を置いて調べること。 ・同時代の出来事について、世界史上の横のつながりを意識して学習する。					
	政治史、経済史、各国史などのテーマ設定 ・アイルランド史 ・キリスト教史 ・近現代フランスの政治史 ・風刺画から読み取る政治史 など			・政治史、経済史、各国史などテーマを設定し、テーマごとにグループもしくは個人で調べ、まとめ、パワーポイントで発表する ※1学期に調べたテーマに関連したものが望ましい。 例) 1学期「植民地からの独立後のアフリカ」について 2学期「近現代のエジプト史」について ※事実の羅列だけでなく、その背景や周辺国との関係なども念頭に置きまとめていくこと ・発表を受けて、他の生徒や教員から出された質問や、新たな発問、について個人で調べてまとめ、レポートを提出する。 ※史料や地図を活用し、課題の背景にある各地域の特徴（周辺国との関係、気候や産業など）にも着目すること。 ※「なぜ」そうなったのか、ということに重点を置いて調べること。 ・同時代の出来事について、世界史上の横のつながりを					

	意識して学習する。 ※これまでに各自で調べたテーマにつながりはないかを 念頭に置いて考察すること。
課題解決方法を考察する	・1, 2学期の学習内容をまとめ、どうすれば現代の課題を 解決へと導くことができるのか、具体的な方法につい て、グループもしくは個人で考察する。 ・まずは課題の原因となっていることを挙げ、それぞれ に対する解決方法を考察し、各自レポートにまとめる。 ※これまで探究してきた事、他教科、他科目で学習してき たことを活かし、個人レベルでできるとこ、国レベルで できること、世界レベルでできることなど、様々な立場 から、具体的に考察すること

履修条件・ 注意事項等	「世界史探究」を受講している生徒を対象とする。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的 に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】3学年選択者（文系、国際教養コース） 1月考査は実施しないこととする。
----------------	--

教科	地理 歴史	科目	発展日本史	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系選択者・L A C 選択者
教科書・副読本									
育成する資質・能力								評価の方法	
知識・技能 これまで学習した我が国の歴史に関わる諸事象について、知識の量・質を向上させるとともに、その知識を定着、発展させ、活用する技能を養う。								知識・技能 定期考査・提出物・レポート発表	
思考力・判断力・表現力 史料を読み解くことなどを通して多面的・多角的に考察したり、構想、議論したりする力を養うとともに、現代の課題に対する解決力の向上を図る。								思考力・判断力・表現力 定期考査・提出物・レポート発表	
主体的に学習に取り組む態度 自ら課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。								主体的に学習に取り組む態度 授業への取り組み・提出物	
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1学期	1 日本文化史 ・日本という国号について ・和歌に現れる日本文化 ・伝承文学から文化伝承を考える ・世阿弥の花について ・茶道の侘びについて ・浮世草子に現れる日本文化 ・廃仏毀釈について ・大衆文化について		・記紀の編纂過程から、国号の起こりを考察する。 ・和歌の始まり、仮名文字の成立の背景から平安貴族文化を考察する。 ・今昔物語集などの説話の伝承性と現代人の心の深層との関連について考察する。 ・世阿弥の花伝書の「はな」から、日本の伝統芸能について考察する。 ・茶道（侘茶）の成立背景から、幽玄や侘び・寂びについて考察する。 ・町人の経済的繁栄や商業活動の拡大など経済の発展に着目して考察する。 ・近代化政策や欧米文化の導入を国民がどのように受容したか考察する。 ・近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。						
	2 日本経済史 ・律令税制と農民の負担 ・定期市の発達 ・「天下の台所」大坂 ・貨幣制度の変遷		・史資料を読み解き、古代の農民の負担について考察する。 ・中世の商業・農業の発達について、政治・外交・社会などの視点をもって考察する。 ・大坂の発展から、江戸時代の経済・物流・諸藩の特産物について考察する。 ・本朝十二銭や撰銭令など古代～近代の貨幣制度について、政治・経済・外交と関連付けて考察する。						
2学期	3 日本外交史 ・日中関係史 ・日朝関係史 ・沖縄・北海道史 ・近代外交史		・史資料を読み解き、各時代において中国と日本の外交について考察する。 ・史資料を読み解き、各時代において朝鮮と日本の外交について考察する。 ・史資料を読み解き、各時代において沖縄・北海道と日本の交流について考察する。 ・史資料を読み解き、明治維新以降の欧米及びアジア諸国と日本の関係について考察する。						

3 学期	日本災害史	過去の災害に関する史資料を読み解き、生徒が自ら主体的に課題を設定し、地理的視点や既知の学習内容を活用して多面的・多角的に考察する。
---------	-------	---

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】3学年選択者（文系、国際教養コース） 1月考査は実施しないこととする。	
----------------	--	--

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	3単位	学年	3年	履修対象	理系選択
教科書・副読本		数学Ⅲ Advanced（東京書籍） PRIME 数学Ⅲ（東京書籍） チャート式 解法と演習 数学Ⅲ+C（数研出版）							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解している。 思考力・判断力・表現力 関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりすることができる。 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。						知識・技能 定期考査・課題考査・小テストなど 思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・小テストなど 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、提出物など			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	1 章 関数と極限 1 節 関数		● 分数、無理関数とそのグラフについて理解し、既に学習した関数の性質と関連付けて多面的に考察することができる。逆関数や合成関数の意味を理解し、それらを求めることができる。 ● 数列の極限について理解し、さまざまな数列の極限を求めることができる。無限等比数列の収束、発散について理解し、これをもとにさまざまな数列の極限について考察することができる。 ● 関数の極限について理解し、さまざまな関数の極限を求めることができる。三角関数の極限について理解し、これをもとにさまざまな関数の極限について考察することができる。 ● 微分可能性について理解し、定義に基づいて関数の導関数を求めることができる。また、導関数の基本的な性質を理解する。積、商の導関数について理解し、それらを用いて基本的な関数の導関数を求めることができる。 ● 三角関数の導関数について理解し、三角関数を含む関数の導関数を求めることができる。自然対数の底 e を導入し、対数関数の導関数について理解する。						
	2 節 数列の極限								
	3 節 関数の極限								
	2 章 微分 1 節 微分法								
1 学期	2 節 いろいろな関数の導関数		● 曲線の接線の方程式及び法線の方程式を求めることができる。関数の値の変化を調べ、極値を求めることができる。 ● 不等式・方程式からつくられた関数の最大・最小やグラフを利用して、不等式・方程式を考察することができる。						
	3 章 微分法の応用 1 節 接線、関数の増減								
	2 節 微分のいろいろな応用								
	4 章 積分とその応用 1 節 不定積分								
2 学期	2 節 定積分		● 目的に応じて式を変形するなどして、いろいろな関数の不定積分を考察することができる。 ● 定積分の基本的な性質について理解し、さまざまな関数の定積分を求めることができる。 ● 定積分と面積・体積の関係について理解し、さまざまな図形の面積を考察することができる。定積分と極線の長さの関係について理解し、さまざまな曲線の長さを考察することができる。						
	3 節 面積・体積・長さ								
	3 総合問題								
3 学期			分野を意識することなく、総合的に演習を行っていく。 （1つの分野に限定せず、問題を多角的に見れるよう指導する） → 過去の大学入試問題や模試の過去問演習を行う。						

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的 に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】3学年選択（理系クラス） ※1月考査は実施しない
----------------	--

教科	数学	科目	数学 C	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	理系
教科書・副読本		数学 C Advanced（東京書籍） PRIME 数学 C（東京書籍） チャート式 解法と演習 数学Ⅲ+C（数研出版）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 思考力・判断力・表現力 関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりすることができる。 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。					知識・技能 定期考査・課題考査・小テストなど 思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・小テストなど 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢・提出物・小テストなど				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	3 章	複素数平面	- 複素数平面と、複素数の実数倍、和、差などの図形的な意味を理解する。 - 複素数の極形式、複素数の積、商の図形的な意味を理解する。 - ド・モアブルの定理について理解する。また、複素数の累乗根について考察することができる。 - 複素数平面において、さまざまな図形を考察することができる。 - 複素数平面における角について理解し、三角形の考察に応用することができる。						
	1 節	複素数平面							
	1	複素数平面							
	2	複素数の極形式							
	3	ド・モアブルの定理							
	2 節	図形への応用							
	1	複素数平面上の図形							
	2	複素数と角							
2 学期	2 章	平面上の曲線	- 放物線の基本的な性質について理解する。 - 楕円の方程式とその概形などについて考察し、楕円の基本的な性質について理解する。 - 双曲線の基本的な性質について理解する。 - 曲線の平行移動について理解できる。 2次曲線と直線の位置関係について調べることができる。 - 離心率の値と2次曲線の関係について理解する。 - 媒介変数表示を用いて曲線を表現し処理することができる。 - 極方程式が表す図形について調べたりすることができる。 - 媒介変数表示や極方程式で表された曲線調べるることができる。						
	1 節	2 次曲線							
	1	放物線							
	2	楕円							
	3	双曲線							
	4	2 次曲線の平行移動							
	5	2 次曲線と直線							
	6	2 次曲線と離心率							
	2 節	媒介変数表示と極座標							
	1	曲線の媒介変数表示							
	2	極座標と極方							

	程 式 3 いろいろな曲 線	
3 学 期	総合問題	分野を意識することなく，総合的に演習を行っていく。 (1つの分野に限定せず、問題を多角的に見れるよう指導する) → 過去の大学入試問題や模試の過去問演習を行う。

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 3 学年選択（理系クラス） ※ 1 月 考 査 は 実 施 し な い	
----------------	---	--

教科	数学	科目	数学総合	単位数	3単位	学年	3年	履修対象	理系選択
教科書・副読本		数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学C Advanced（東京書籍） 入試必修問題集「精錬」 数学ⅠⅡA B + C（ベクトル）（啓林館）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 事象の数量等に着目して数学的な問題を見いだすこと、構想・見通しを立てることができる。 思考力・判断力・表現力 目的に応じて数・式，図，表，グラフなどを活用し，一定の手順に従って数学的に処理することができる。 主体的に学習に取り組む態度 解決過程を振り返り，得られた結果を意味付けたり，活用したりすることなどを求めることができる。					知識・技能 定期考査・課題考査・小テストなど 思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・小テストなど 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢・提出物・小テストなど				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	数学ⅠAⅡ		下記の単元の中で，要点として押さえておきたい問題を扱います。その問題を解く際に必要となる公式や考え方を復習していきます。 ・数と式 ・データの分析 ・整数の性質 ・2次関数 ・場合の数と確率 ・式と証明 ・図形と計量 ・図形の性質 ・複素数と方程式						
	数学ⅡBC		下記の単元の中で，要点として押さえておきたい問題を扱います。その問題を解く際に必要となる公式や考え方を復習していきます。 ・図形と方程式 ・微分法，積分法 ・統計的な推測 ・三角関数 ・ベクトル ・複素数平面 ・指数関数と対数関数 ・数列						
3 学期	総合問題		分野を意識することなく，総合的に演習を行っていく。 （1つの分野に限定せず、問題を多角的に見れるよう指導する） → 過去の大学入試問題や模試の過去問演習を行う。						

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】３学年選択（理系クラス） ※１月考査は実施しない
----------------	---

教科	数学	科目	数学探究①	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	理文LAC選択
教科書・副読本		数学Ⅰ・数学A Advanced（東京書籍） 共通テスト分野別演習 数学Ⅰ・A （Z会）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 事象の数量等に着目して数学的な問題を見いだすこと、構想・見通しを立てることができる。 思考力・判断力・表現力 目的に応じて数・式、図、表、グラフなどを活用し、一定の手順に従って数学的に処理することができる。 主体的に学習に取り組む態度 解決過程を振り返り、得られた結果を意味付けたり、活用したりすることなどを求めることができる。					知識・技能 定期考査・課題考査・小テストなど 思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・小テストなど 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢・提出物・小テストなど				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	数学ⅠAⅡBC		基本的かつ平易な問題を通して、基礎的な実力を養成するとともに、大学入試共通テストでしようされるマークシート方式の穴うめ問題を中心に、まずはこの方式の解答に慣れるために基本的な典型問題を演習していきます。 ・数と式 ・図形と計量 ・確率 ・集合と命題 ・データの分析 ・図形の性質 ・2次関数 ・場合の数						
2 学期	数学ⅠAⅡBC		大学入試共通テストの形式を意識した標準的な問題を通して、過去の大学入試共通テスト試験の問題を演習するとともに、大学入試共通テスト本番の形式を想定した実践的な問題も演習していきます。 ・数と式 ・図形と計量 ・確率 ・集合と命題 ・データの分析 ・図形の性質 ・2次関数 ・場合の数						
3 学期	総合問題		分野を意識することなく、総合的に演習を行っていく。 （1つの分野に限定せず、問題を多角的に見られるよう指導する） → 模試の過去問演習を行う。						

履修条件・注意事項等	【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 3学年選択（理系クラス・文系クラス・国際教養コース） ※1月考査は実施しない
------------	--

教科	数学	科目	数学探究②	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文LAC選択
教科書・副読本		数学Ⅱ・数学B・数学C Advanced（東京書籍） 共通テスト分野別演習 数学Ⅱ・B・C（Z会）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 事象の数量等に着目して数学的な問題を見いだすこと、構想・見通しを立てることができる。 思考力・判断力・表現力 目的に応じて数・式，図，表，グラフなどを活用し，一定の手順に従って数学的に処理することができる。 主体的に学習に取り組む態度 解決過程を振り返り，得られた結果を意味付けたり，活用したりすることなどを求めることができる。					知識・技能 定期考査・課題考査・小テストなど 思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・小テストなど 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢・提出物・小テストなど				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	数学ⅡBC		基本的かつ平易な問題を通して，基礎的な実力を養成するとともに，大学入試共通テストでしようされるマークシート方式の穴うめ問題を中心に，まずはこの方式の解答に慣れるために基本的な典型問題を演習していきます。 ・式と証明 ・三角関数 ・積分法 ・ベクトル ・複素数と方程式 ・指数関数と対数関数 ・数列 ・空間ベクトル ・図形と方程式 ・微分法 ・統計的な推測						
	数学ⅡBC		大学入試共通テストの形式を意識した標準的な問題を通して，過去の大学入試共通テスト試験の問題を演習するとともに，大学入試共通テスト本番の形式を想定した実践的な問題も演習していきます。 ・式と証明 ・三角関数 ・積分法 ・ベクトル ・複素数と方程式 ・指数関数と対数関数 ・数列 ・空間ベクトル ・図形と方程式 ・微分法 ・統計的な推測						
3 学期	総合問題		分野を意識することなく，総合的に演習を行っていく。 （1つの分野に限定せず、問題を多角的に見られるよう指導する） → 模試の過去問演習を行う。						

履修条件・注意事項等	【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 3学年選択（文系クラス・国際教養コース） ※1月考査は実施しない
------------	--

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4：4：2 【評価母集団】3 学年選択（文系クラス・国際教養コース） ※ 1 月 考 査 は 実 施 し な い
----------------	---

教科	数学	科目	数学探究④	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系LAC選択者
教科書・副読本		数学Ⅰ・数学A Advanced（東京書籍） ベーシックスタイル 数学演習Ⅰ・A 受験編（数研出版）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 思考力・判断力・表現力 関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察することができる。 主体的に学習に取り組む態度 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。					知識・技能 定期考査・課題考査・小テストなど 思考力・判断力・表現力 定期考査・課題考査・小テストなど 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢・提出物・小テストなど				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	数学Ⅰ 数と式		問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。						
	2次関数		2つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。						
	図形と計量		図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し，定理や公式として導くことができる。						
	データの分析		目的に応じて複数の種類のデータを収集し，適切な統計量やグラフ，手法などを選択して分析を行い，データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。						
2 学期	数学A 場合の数と確率		確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察することができる。						
	図形の性質		図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見だし，その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。						
	数学と人間の活動		数量や図形に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察することができる。						
3 学期	総合問題		総合問題を解く（演習）						

履修条件・注意事項等	【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 3学年選択（文系クラス・国際教養コース） ※1月考査は実施しない
------------	--

教科	理科	科目	生物	単位数	4 単位	学年	3 年	履修対象	理系生物選択者
教科書・副読本		高等学校 生物（啓林館）セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）、 ニューステージ生物図表（浜島書店）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 生物の多様性を踏まえつつ、生物に共通する概念や原理や法則を理解する。 思考力・判断力・表現力 図やグラフを用いて問題解決をしたり、実験を通して得られた結果を整理分析する。 主体的に学習に取り組む態度 観察、実験、演習を通して生物や生命現象を論理的に探究する能力と態度を育てる。					知識・技能 定期考査・小テスト・提出物等 思考力・判断力・表現力 定期考査・小テスト・提出物等 主体的に学習に取り組む態度 探求課題に取り組む姿勢・提出物等				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	第3部 遺伝情報の発現と発生 第7章 遺伝現象と物質 第8章 発生と遺伝子の発現 第9章 バイオテクノロジー		DNAの構造、遺伝情報の複製・転写・翻訳のしくみ、そして遺伝子発現の調節を学ぶ。 探究7 タンパク質はどのようなしくみで合成され、遺伝子はどのようなときに発現しているのか 配偶子形成と受精、卵割から器官分化の始まりまでの過程について学ぶとともに、細胞の分化と形態形成のしくみを理解する。 探究8 卵の中で局在している物質が発生過程における分化に影響を与えるか バイオテクノロジーの原理とその応用を見ていく。 探究9 遺伝子を扱った技術とは						
	第4部 生物の環境応答 第10章 刺激の受容と反応 第11章 動物の行動 第12章 植物の環境応答 第5部 生態と環境 第13章 個体群と生物群集		外界の刺激を受容し、神経系を介して、反応するしくみを学び、刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解する。 探究10 刺激の強さで筋収縮に変化は起こるのだろうか 神経系と関連づけられる動物の行動を主に扱うこととする。行動に生まれつきのものと学習によるものがあることを理解する。 探究11 経験や学習は行動にどのように変化をもたらすだろうか植物の配偶子形成と受精、胚発生と種子の形成、花器官の分化について学ぶ。 植物が周りの環境からの刺激に応答するしくみを学び、その際に植物ホルモンや光受容体が関係することを理解する。 探究12 何が植物の成長を調節しているのだろうか 生物の生活に影響を及ぼしている環境と生物との関係について理解する。同種の個体や異種の個体が相互作用を及ぼし合っていることを理解する。また、個体群レベルから順にそれぞれの段階で繰り広げられる生物の様々な営みと、環境との関係について理解する。 探究13 個体群密度は、植物の成長にどのような影響を与えるか。						
	第14章 生態系		生態系における物質生産とエネルギー効率について学ぶとともに、生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し、生物多様性の重要性を認識する。 探究14 人間の生活は生態系にどのような影響を与えるか						
3 学期									

履修条件・ 注意事項等	2年次からの継続。理学部生物学科や農学部、医療看護系大学進学を考えている者は履修が望ましい。【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2【評価母集団】3学年理系生物選択者 （また、1月考査は実施せず評価することとする。）
----------------	--

教科	理科	科目	物理	単位数	4 単位	学年	3 年	履修対象	理系物理選択
教科書・副読本		物理(数研出版)、リードα 物理・物理基礎(数研出版)							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 自然現象を理解し、現象の量的な関係や、時間・空間的な変化から規則性を捉えることができる。						知識・技能 定期考査・小テスト・提出物等			
思考力・判断力・表現力 自然の規則性をもとに、実験観察に取り組み、結果から様々な考察ができる。また、それを様々な現象に応用できる。						思考力・判断力・表現力 定期考査・実験レポート・提出物等			
主体的に学習に取り組む態度 自然の規則性の理解、現象に対する考察を主体的・科学的に探究することができる。						主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢等			
期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント							
1 学期	第 3 編 波	③光：光の性質 レンズと鏡 光の干渉と回折 光の散乱・分散・干渉などの現象を波として理解したうえで、光が電磁波の一種であることを理解する。凸レンズと凹レンズを通る代表的な光線の進み方を作図する。光の干渉に関する条件式を導く。 ①電場：静電気力 電場 電位 物質と電場 コンデンサー 物質中の電子の過不足により帯電が生じ、生じた電荷の間に静電気力が働くことを理解する。電場・電位が試験電荷あたりの静電気力・位置エネルギーであることを理解する。コンデンサーに関する現象を理解する。 ②電流：オームの法則 直流回路 半導体 電荷の移動が電流であり、その大きさが電位差に比例することの理解を通じオームの法則を理解する。キルヒホッフの法則を理解し、電池の内部抵抗や電流計・電圧計等の現象に応用できる。半導体の性質について理解し清流作用について理解する。							
	第 4 編 電気と磁気								
2 学期	第 4 編 電気と磁気	③電流と磁場：磁場 電流の作る磁場 電流が磁場から受ける力 ローレンツ力 電場との対比から磁場を理解する。電流が磁場を作る場合の電流と磁場の関係を理解する。電流が磁場から受ける力を定量的に取り扱う。電流が磁場から受ける力を微視的に考察することで磁場内の荷電粒子の運動を理解する。 ④電磁誘導と電磁波：電磁誘導の法則 自己誘導と相互誘導 交流の発生 交流回路 電磁波 電磁誘導の現象を通じ、誘導起電力を理解する。コイルに電流が流れるとき、エネルギーが蓄えられることを理解する。交流の発生の仕組みを理解する。コイルやコンデンサーに交流電源を接続すると電圧と電流に位相差が生じることを理解する。電磁波の種類と発生の仕組みを理解する。 ①電子と光：電子 光の粒子性 X線 粒子の波動性 電子の発見、光の粒子性・波動性、X線のふるまいについて理解する。 ②原子と原子核：原子の構造とエネルギー順位 原子核 放射線とその性質 核反応と核エネルギー 素粒子 原子・原子核の構造について理解する。放射線の本体や性質、放射性崩壊に関する現象について理解する。核エネルギーが生じる仕組みを理解する。様々な素粒子について把握する。							
	第 5 編 原子								
3 学期	物理学が築く未来	物理の学習内容が現在における最先端の研究の基盤であることを理解する。							

履修条件・注意事項等	【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 3学年理系（物理選択者） 理工系の大学・学部や工業系専門学校への進学を希望する場合、入学試験で「物理基礎・物理」を受験する必要があります。進学希望先の受験科目を調べておきましょう。 ※1月考査は実施しない。
------------	--

教科	理 科	科目	化学の広 場	単位数	2単位	学年	3 年	履修対象	文系LAC選択者	
教科書・副読本		化学基礎（数研出版）								
育成する資質・能力					評価の方法					
知識・技能 日常生活や社会との関連を図りながら、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けるようにする。 思考力・判断力・表現力 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 主体的に学習に取り組む態度 目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究しようとする態度を養い、物質とその変化への関心を高める。					知識・技能 定期考査・提出物等 思考力・判断力・表現力 定期考査・提出物等 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢等・提出物・小テスト等					
期間	単 元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学 期	第1編	物質の成り立ち			教科書の内容の復習を行う。 必要があれば適宜実験も行う。					
	1章	物質の探求								
	2章	物質の構成粒子								
	3章	物質と化学結合								
	第2編	物質の変化								
	1章	物質と化学変化								
	2章	酸と塩基								
	3章	酸化と還元								
2 学 期	共通テストに向けた 総合演習				過去の入試問題を含めた総合演習を行う。					
3 学 期	共通テストに向けた 総合演習				過去の入試問題を含めた総合演習を行う。					

履修条件・注意事項等	【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 3学年（文系・LAC 選択者） 1月考査は実施しない。
------------	---

教科	理科	科目	基礎生物	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系、LAC選択者
教科書・副読本		生物基礎（啓林館） ニューステージ生物図表（浜島書店）、つかむ生物基礎（浜島書店）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けるようにする。 思考力・判断力・表現力 観察・実験に関する内容を中心に協働学習を行い、科学的に探究する力を養う。未知の実験・観察に関しても仮説や結果に対する考察を立て、思考力・判断力・表現力を養う。 主体的に学習に取り組む態度 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					知識・技能 定期考査・提出物等 思考力・判断力・表現力 定期考査・提出物等 主体的に学習に取り組む態度 授業にとりくむ姿勢、演習に前向きに取り組む姿勢、提出物等				
期間	単元			主な学習活動（指導内容）と評価のポイント					
1学期	・生物の共通性について学ぶ ・生命活動について学ぶ ・DNAについて学ぶ			・細胞の観察を通して原核細胞と真核細胞の違いについて考察する。 動物細胞と植物細胞の違いについて考察する。 ・現存する生物の中で細胞内共生説を支持する根拠となる生物について調べる。なお、データはタブレット端末を活用して入手させる。 ・カタラーゼによる過酸化水素の分解の実験を通して酵素の性質について考察する。班で肝臓および各種野菜を用いた実験の結果を比較し、報告書等を作成し共有する。 ・グリフィス、エイブリー、ハーシーが行った実験について、遺伝子の本体がDNAであることをもとに実験手順をもとに結果を予想し共有する。 ・体細胞分裂の観察における染色体の様子から、分裂でのDNAの分配について理解を深める。 ・各単元の内容を、演習などを利用し復習を行う。					
	・体液について学ぶ ・恒常性について学ぶ ・血糖値の調節について学ぶ ・免疫について学ぶ			・酸素解離曲線から、ヘモグロビンの性質について考察する。 胎児と母体の酸素解離曲線がなぜ異なるのかについて考察する。 ・糖尿病患者と健康な人の血糖値・グルカゴン・インスリンの濃度変化のグラフから、体内での血糖値の調節について考察する。また、体内でどのような異常が起これば糖尿病となるのかについて考え、報告書等を作成する。その際、タブレットを用いて生活習慣と糖尿病の原因についても調べさせることで、生活との関連を強める。 ・一次応答と二次応答の抗体濃度のグラフからそれぞれの違いを考察する。 ・各単元の内容を、演習などを利用し復習を行う。					
	・植生の遷移について学ぶ			・植生は普遍的なものではなく、時間とともにその環境に適応し					

3 学期	・ バイオームについて学ぶ ・ 生態系について学ぶ	た植物からなる植生へと変化していることを理解する。 ・ 各地の年平均気温および年降水量のデータからそれぞれのバイオームについて班で考察する。なお、データはタブレット端末を活用して入手させる。 ・ 植生を基盤として動物や微生物の集まりができるため似たような環境に同じような相観のバイオームが形成されることを理解する。 ・ 生態系の生物どうしは、食物連鎖でつながっており、その中を物質やエネルギーが移動していることを学ぶ。炭素や窒素などの物質は、食物連鎖などを通じ、生態系の中で形を変えながら循環していることを理解し発表する。 ・ 各単元の内容を、演習などを利用し復習を行う。
---------	--	--

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 4：4：2 【評価母集団】3 学年（文系・LAC 選択者） （また、1 月考査は実施せず評価することとする。）
----------------	--

履修条件・ 注意事項等	学校指定体操服 【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 3学年全員（理系、文系、国際教養コース）
----------------	--

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4 単位	学年	3 年	履修対象	文系・理系
教科書・副読本		『FLEX English CommunicationⅢ』（増進堂）							
		『英単語Stock 4500』（文英堂）							
		『Focus on Listening Standard』（エミル出版）							
		『英文法・語法 Engage 3 rd Edition』（いいずな書店）							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 英語の文章を読み、内容を正しく理解し、自分なりの考えを持つことができる。						知識・技能 定期考査・課題考査			
思考力・判断力・表現力 英語を使って自分の考えを書く、話すなどして相手に伝えることができる。						思考力・判断力・表現力 定期考査 発問評価			
主体的に学習に取り組む態度 英語に慣れ親しむべく音読を繰り返し練習し、新出の語彙に触れて語彙力を上げるなど前向きに授業に臨むことができる。						主体的に学習に取り組む態度 授業態度 英単語小テスト 提出物			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	Lesson1 Potential Uses of Optical Illusions		・導入となる音声と質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・錯視とは何なのかを理解させる。 ・紹介される錯視の効果と使用例を読み取らせる。 ・錯視の効果の制限について読み取らせる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。 ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。 ・錯視のさまざまな例について考察し、調べ学習を行った上で、クラスで発表させる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。						
	Lesson2 Expanding World Population		導入となる音声と質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・世界人口の変遷を年代と共に読み取らせる。 ・世界人口の増加をもたらしした契機について読み取らせる。 ・世界人口の増加により生じる問題について理解させる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。 ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。 ・世界人口の増加により生じる問題とSDGsの関連を考察させ、国連のウェブサイトなどを使った調べ学習を行った上で、SDGs達成に向けた取り組みについてクラスで発表させる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる						
	Lesson3 What Makes a Hit Song?		・導入となる音声と質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・ヒットソングに関する研究者の見解を読み取らせる。 ・ヒットソングに関する研究者が行った実験方法を理解させる。						
	Lesson4 Visas for Life								

Lesson7
Sustainable Lifestyle
of the Edo Period

- ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。
- ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。
- ・没後に評価された芸術家のうち一人について調べさせ、ペアで情報を共有させる。
- ・「芸術家は没後に評価されやすい」というテーマのディベートについて賛成、反対の両方の意見を書かせる。
- ・意見をグループで共有させ、質問や意見を投げかけさせる。また、他の生徒の意見を聞いたうえで、生徒自身が賛成か反対かを考えさせ、意見を書かせる。

Lesson8
Why do we lie?

- ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。
 - ・語句の意味および発音を定着させる。
 - ・江戸時代の水道が発展している点について読み取らせる。
 - ・江戸時代のリサイクルシステムについて理解させる。
 - ・江戸時代と比較した現代の生活について読み取らせる。
 - ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。
 - ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。
 - ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。
 - ・アップサイクルされたアイテムを見て、どのような製品をもとに作られたか考察させる。
 - ・アップサイクルの例について調べ、表に情報をまとめさせる。
 - ・調べた内容をもとに、そのアイテムの広告を書かせ、クラスで発表させる。また、どのアイテムが最も人気だったか話合わせる。
 - ・最も人気だったアイテムについて、クラスに向けてグループプレゼンテーションを行わせる。
 - ・速読しながら、True or False を解かせる
-
- ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。
 - ・語句の意味および発音を定着させる。
 - ・嘘をつく理由と嘘の種類について読み取らせる。
 - ・フェルドマンが行った嘘に関する実験について理解させる。
 - ・フェルドマンの他の研究が示す内容や彼の見解について読み取らせる。
 - ・アルゴの実験内容とその結果について理解させる。
 - ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。
 - ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。
 - ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。
 - ・イラストと説明を見て、どのようなストーリーが展開されているか考察させる。
 - ・そのストーリーをうけて、生徒自身が少年の立場だったらどのような発言をするか考えさせる。
 - ・生徒自身が言ったことのある、または言うであろう「優しい嘘」について、相手、状況、内容について考えさせる。
 - ・その内容をもとに、クラスにグループで寸劇を行わせる。
 - ・速読しながら、True or Falseを解かせる。

3 学 期	Lesson9 On Defense of Zoos	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・動物園に対する批判の焦点を理解させる。 ・動物園を巡る論争における筆者の立場を理解させる。 ・動物園が生物多様性の保全にどのように働きかけているかを読み取らせる。 ・動物園の飼育環境について読み取らせる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。 ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。
	Lesson10 Eco-friendly Farming of Bluefin Tuna	・5つの自由について制限されていると思われる動物を考えさせる。 ・その動物について、どのように自由が制限されているかまとめ、グループで共有させる。 ・まとめた内容をもとに、どうすれば動物の自由が制限されなくなるか考え、スライドやポスターを作ってクラスに向けて発表を行わせる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる
	Lesson11 A Brief History of Humans	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・マグロの漁獲量と需要の変化について読み取らせる。 ・マグロを養殖する意義と完全養殖の難しさについて理解させる。 ・近畿大学の研究者たちがマグロの完全養殖を成功させるまでの経緯を読み取らせる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。 ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。 ・“A whale is no more than a horse is”という文の意味に合うイラストがどれか考えさせる。 ・捕鯨に賛成、反対している国やそれぞれの主張についてグループで調べさせ、情報をまとめさせる。 ・まとめた内容をもとに、6つのスライドやポスターを作ってクラスに向けて発表を行わせる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。

導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。

- ・語句の意味および発音を定着させる。
- ・人間とその他の動物の違いについて読み取らせる。
- ・人間が集団で柔軟に協力することを可能にしている要素が何かを読み取らせる。
- ・人間の想像力によって生まれた存在や価値、世界観について理解させる。
- ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。
- ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。
- ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。
- ・英文の内容に合うイラストの順番を考えさせる。
- ・表にある文章の各構造と、どの英文が対応しているか考えさせる。
- ・文章の構造を意識しながら、生徒自身の体験を語らせる。

		・速読しながら，True or Falseを解かせる
--	--	----------------------------

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝３：４：３ 【評価母集団】３学年一般クラス ３年１月考査は実施しないこととする。
----------------	--

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4 単位	学年	3 年	履修対象	LAC
教科書・副読本		『FLEX English CommunicationⅢ』（増進堂）							
		『英単語 Stock 4500』（文英堂）							
		『Focus on Listening Standard』（エミル出版）							
		『英文法・語法 Engage 3 rd Edition』（いいずな書店）							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 英語の文章を読み、内容を正しく理解し、自分なりの考えを持つことができる。						知識・技能 定期考査・課題考査			
思考力・判断力・表現力 英語を使って自分の考えを書く、話すなどして相手に伝えることができる。						思考力・判断力・表現力 定期考査 発問評価			
主体的に学習に取り組む態度 英語に慣れ親しむべく音読を繰り返し練習し、新出の語彙に触れて語彙力を上げるなど前向きに授業に臨むことができる。						主体的に学習に取り組む態度 授業態度 英単語小テスト 提出物			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	Lesson1 Potential Uses of Optical Illusions		・導入となる音声と質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・錯視とは何なのかを理解させる。 ・紹介される錯視の効果と使用例を読み取らせる。 ・錯視の効果の制限について読み取らせる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。 ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。 ・錯視のさまざまな例について考察し、調べ学習を行った上で、クラスで発表させる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。						
	Lesson2 Expanding World Population		導入となる音声と質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・世界人口の変遷を年代と共に読み取らせる。 ・世界人口の増加をもたらした契機について読み取らせる。 ・世界人口の増加により生じる問題について理解させる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。 ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。 ・世界人口の増加により生じる問題とSDGsの関連を考察させ、国連のウェブサイトなどを使った調べ学習を行った上で、SDGs達成に向けた取り組みについてクラスで発表させる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる						
	Lesson3 What Makes a Hit Song?		・導入となる音声と質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・ヒットソングに関する研究者の見解を読み取らせる。 ・ヒットソングに関する研究者が行った実験方法を理解させる。						

	Lesson4 Visas for Life	・行った実験の結果について理解させる。 ・研究者が実験を通して、考察している内容を読み取らせる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。 ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。 ・SNSの利用について生徒自身の体験を織り交ぜながら考えさせ、レビューを作成させ、グループで発表させる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。 を行った上で、クラスで発表させる。 ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・ユダヤ人の難民と当時の状況について理解させる。 ・杉原千畝の職業と立場について読み取らせる。 ・杉原千畝がユダヤ人の難民に対してビザを発行した意義を理解させる。 ・戦後の杉原千畝の経歴を読み取らせる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。 ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。 ・著名人の功績について分析させ、ペアで共有させる。 ・その著名人についてのクイズを作成させ、グループで共有させる。 ・生徒自身が影響、感銘を受けた人物についてプレゼンテーションを行わせ、他の生徒のプレゼンテーションに対して質問や意見を投げかけさせる。 ・速読しながら、True or False を解かせる。
2 学 期	Lesson5 How Have Butterflies Survived?	・語句の意味および発音を定着させる。 ・蝶の生存に関する疑問を理解させる。 ・蝶の不規則な飛び方を可能にしている要因を読み取らせる。 ・蝶の羽の働きに関する実験の内容を理解させる。 ・蝶の羽の色が生存戦略にどう関係しているかを理解させる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。 ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。 ・様々な動物の特徴を、形状的、機能的、行動的適応に分類させる。 ・動物を一つ選ばせ、その動物の形状的、機能的、行動的適応について調べさせ、グループで共有させる。 ・調べた内容をもとに、ブログ調の文章を書かせ、クラスで発表させる。また、他の生徒の発表に対して質問や意見を投げかけさせる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる
	Lesson6 Mr.Price Meets Jakuch u	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・伊藤若冲という人物及び作品の概要を読み取らせる。 ・プライス氏と伊藤若冲の出会いについて読み取らせる。 ・プライス氏が開いた展示会について読み取らせる。 ・プライス氏の東日本大震災後の行動と理由を理解させる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。

Lesson7 Sustainable Lifestyle of the Edo Period	・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。 ・没後に評価された芸術家のうち一人について調べさせ、ペアで情報を共有させる。 ・「芸術家は没後に評価されやすい」というテーマのディベートについて賛成、反対の両方の意見を書かせる。 ・意見をグループで共有させ、質問や意見を投げかけさせる。また、他の生徒の意見を聞いたうえで、生徒自身が賛成か反対かを考えさせ、意見を書かせる。 ・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・江戸時代の水道が発展している点について読み取らせる。 ・江戸時代のリサイクルシステムについて理解させる。 ・江戸時代と比較した現代の生活について読み取らせる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。 ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。 ・アップサイクルされたアイテムを見て、どのような製品をもとに作られたか考察させる。 ・アップサイクルの例について調べ、表に情報をまとめさせる。 ・調べた内容をもとに、そのアイテムの広告を書かせ、クラスで発表させる。また、どのアイテムが最も人気だったか話合わせる。 ・最も人気だったアイテムについて、クラスに向けてグループプレゼンテーションを行わせる。 ・速読しながら、True or False を解かせる
Lesson8 Why do we lie?	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・嘘をつく理由と嘘の種類について読み取らせる。 ・フェルドマンが行った嘘に関する実験について理解させる。 ・フェルドマンの他の研究が示す内容や彼の見解について読み取らせる。 ・アルゴの実験内容とその結果について理解させる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。 ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。 ・イラストと説明を見て、どのようなストーリーが展開されているか考察させる。 ・そのストーリーをうけて、生徒自身が少年の立場だったらどのような発言をするか考えさせる。 ・生徒自身が言ったことのある、または言うであろう「優しい嘘」について、相手、状況、内容について考えさせる。 ・その内容をもとに、クラスにグループで寸劇を行わせる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。

3 学 期	Lesson9 On Defense of Zoos	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・動物園に対する批判の焦点を理解させる。 ・動物園を巡る論争における筆者の立場を理解させる。 ・動物園が生物多様性の保全にどのように働きかけているかを読み取らせる。 ・動物園の飼育環境について読み取らせる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。 ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。 ・5つの自由について制限されていると思われる動物を考えさせる。 ・その動物について、どのように自由が制限されているかまとめ、グループで共有させる。 ・まとめた内容をもとに、どうすれば動物の自由が制限されなくなるか考え、スライドやポスターを作ってクラスに向けて発表を行わせる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる
	Lesson10 Eco-friendly Farming of Bluefin Tuna	・導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・マグロの漁獲量と需要の変化について読み取らせる。 ・マグロを養殖する意義と完全養殖の難しさについて理解させる。 ・近畿大学の研究者たちがマグロの完全養殖を成功させるまでの経緯を読み取らせる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。 ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。 ・“A whale is no more than a horse is”という文の意味に合うイラストがどれか考えさせる。 ・捕鯨に賛成、反対している国やそれぞれの主張についてグループで調べさせ、情報をまとめさせる。 ・まとめた内容をもとに、6つのスライドやポスターを作ってクラスに向けて発表を行わせる。 ・速読しながら、True or Falseを解かせる。
	Lesson11 A Brief History of Humans	導入となる質問を与え、本レッスンのトピックに関心や興味を持たせる。 ・語句の意味および発音を定着させる。 ・人間とその他の動物の違いについて読み取らせる。 ・人間が集団で柔軟に協力することを可能にしている要素が何かを読み取らせる。 ・人間の想像力によって生まれた存在や価値、世界観について理解させる。 ・本文全体の内容を段落構成に基づいて復習させる。 ・本文の内容理解に関する問題に取り組ませる。 ・本文の内容理解と資料をもとに、問題に対する意見をペアやグループで共有させる。 ・英文の内容に合うイラストの順番を考えさせる。 ・表にある文章の各構造と、どの英文が対応しているか考えさせる。 ・文章の構造を意識しながら、生徒自身の体験を語らせる。

		・速読しながら，True or Falseを解かせる
--	--	----------------------------

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝３：４：３ 【評価母集団】３学年一般クラス ３年１月考査は実施しないこととする。
----------------	--

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅲ	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系・理系
教科書・副読本		Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。					知識・技能 定期考査・課題考査 思考力・判断力・表現力 グループワーク パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション） 主体的に学習に取り組む態度 授業態度 小テスト 提出物				
思考力・判断力・表現力 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。									
主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。									
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	Lesson 1 学習／言語 Friendship and improvement		学生の悩み解決 ：留学中の 2 人の日本人学生から送られた相談メールを読んで、それぞれの悩みを解決する。 表現 助言 (Advice)：助言を与える表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと]：留学中の学生に悩みの解決策を助言するために、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。						
	Lesson 2 学習／言語 Which is better, a paper or an electronic dictionary?		紙の辞書と電子辞書 ：書店で販売員が話す「紙の辞書」と「電子辞書」の説明を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。 表現 譲歩 (Concession)：譲歩する表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 プレゼンテーション [話すこと (発表)]：初級言語学習者は「紙の辞書」と「電子辞書」のどちらを使うのが良いかについて、自分の意見を論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。						
	Lesson 3 心理 Can you change your personality?		悩み相談コラム ：相談コラムに寄せられた性格に関する悩みと返信の投稿を読んで、悩みと助言を理解する。 表現 関係 (Relationship)：物事の関係を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと]：自分の性格について、子供の頃の性格と比較しながら、理由や具体例とともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。						
	Lesson 4 心理 How do we make decisions?		決断 ：心理学の授業で、2 つの異なる「決断スタイル」に関する講義を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。 表現 判断の根拠 (Bases of decisions)：判断の根拠を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと]：これまで重大な決断について、いつどのように決断したか、また決断の結果について、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。						
	Lesson 5 医療／健康		オンライン診療 ：留学中にインターネットで調べた病院のウェブサイト						

	Online doctor consultations	トを見て、オンライン診療と対面診療の利点について考える。 表現 代替 (Alternative) : 代替を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと] : オンライン診療と対面診療の利点について考え、どちらがより良いと思うかについて、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
2 学 期	Lesson 6 医療／健康 Healthy lifestyle	健康的なライフスタイル : クラスメートのジェイクと沙也加との会話を聞いて置かれた状況や問題点を理解し、健康的な生活へのアドバイスを考える。 表現 結果 (Result) : 結果を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと] : ジェイクのクラスメートとして、生活の問題点と改善策を示して助言するため、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
	Lesson 7 異文化 What do you do after school?	部活動の違い : 日本とアメリカの部活動の形態についての学生同士のメール文を読んで、それぞれの部活動の特徴や違いを理解する。 表現 物事の正負の影響 (Positive and negative affects) : 物事の正負の影響に関する表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと] : アメリカの部活動と日本の部活動の形態のどちらが良いと思うかについて、自分の経験を踏まえて、自分の意見を理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
	Lesson 8 異文化 Direct and indirect ways of communication	コミュニケーションの方法 : 2つのコミュニケーション文化 (高コンテキストと低コンテキスト) について話される講義を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。 表現 差異 (Differences) : 差異を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと] : 日本人にとって、高コンテキストのコミュニケーションが有益かどうかについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
	Lesson 9 情報化社会 Should we use social media? Lesson 10 情報化社会 Are you a good user of social media?	SNS の好影響と悪影響 : SNS のプラス面とマイナス面について書かれた記事を読んで、SNS が日常生活に与える影響について考える。 表現 類似 (Similarity) : 類似を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと] : SNS の使用のメリットとデメリットについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。 SNS 上のトラブル : 学生に頻発する SNS 上のトラブルについて話される講義を聞いての問題点や予防のために必要なスキルを理解する。 表現 理由 (Reasons) : 理由を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと] : SNS の適切な使用を奨励するために、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。

3 学 期	Lesson 11 社会構成 Lifetime employment or career changes?	終身雇用と転職：終身雇用と転職の比較について、オンラインでやり取りされる生徒同士のやり取りを読んで、現状や傾向を理解する。 表現 可能性 (Probability)：可能性を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと]：日本の終身雇用と転職について、どちらの立場を支持するかの意見を理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
	Lesson 12 社会構成 Diversity in the workplace	職場の多様性：テレビ番組のジャーナリストが多様性の促進について話すのを聞いて、日本の職場で起こり得る多様性と現状を理解する。 表現 情報の追加 (Further Information)：情報の追加を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと]：社会の多様性について、どのような場所で求められ、どのように促進するのかという点を含めて、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
	Lesson 13 経済 The rise of the cashless society	キャッシュレス社会：電子決済システムについて発表するため、キャッシュレス社会に関する記事と投稿を読んで、その利点と欠点を理解する。 表現 対照 (Contrast)：対照を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 スピーチ [話すこと (発表)]：電子決済システムのメリットとデメリットについて、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。
履修条件・ 注意事項等		【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：4：3 【評価母集団】3学年一般クラス 3年1月考査は実施しないこととする。

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅲ	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	LAC
教科書・副読本		Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。					知識・技能 定期考査・課題考査 思考力・判断力・表現力 グループワーク パフォーマンステスト：発表（スピーチ・プレゼンテーション） 主体的に学習に取り組む態度 授業態度 小テスト 提出物				
思考力・判断力・表現力 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。									
主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。									
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1学期	Lesson 1 学習／言語 Friendship and improvement		学生の悩み解決 ：留学中の 2 人の日本人学生から送られた相談メールを読んで、それぞれの悩みを解決する。 表現 助言 (Advice) ：助言を与える表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと] ：留学中の学生に悩みの解決策を助言するために、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。						
	Lesson 2 学習／言語 Which is better, a paper or an electronic dictionary?		紙の辞書と電子辞書 ：書店で販売員が話す「紙の辞書」と「電子辞書」の説明を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。 表現 譲歩 (Concession) ：譲歩する表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 プレゼンテーション [話すこと (発表)] ：初級言語学習者は「紙の辞書」と「電子辞書」のどちらを使うのが良いかについて、自分の意見を論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。						
	Lesson 3 心理 Can you change your personality?		悩み相談コラム ：相談コラムに寄せられた性格に関する悩みと返信の投稿を読んで、悩みと助言を理解する。 表現 関係 (Relationship) ：物事の関係を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと] ：自分の性格について、子供の頃の性格と比較しながら、理由や具体例とともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。						
	Lesson 4 心理 How do we make decisions?		決断 ：心理学の授業で、2つの異なる「決断スタイル」に関する講義を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。 表現 判断の根拠 (Bases of decisions) ：判断の根拠を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと] ：これまで重大な決断について、いつどのように決断したか、また決断の結果について、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。						
	Lesson 5 医療／健康 Online doctor consultation		オンライン診療 ：留学中にインターネットで調べた病院のウェブサイト						

	tations	を見て，オンライン診療と対面診療の利点について考える。 表現 代替 (Alternative)：代替を表す表現を理解し，場面や状況，目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと]：オンライン診療と対面診療の利点について考え，どちらがより良いと思うかについて，論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
2 学 期	Lesson 6 医療／健康 Healthy lifestyle	健康的なライフスタイル：クラスメートのジェイクと沙也加との会話を聞いて置かれた状況や問題点を理解し，健康的な生活へのアドバイスを考える。 表現 結果 (Result)：結果を表す表現を理解し，場面や状況，目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと]：ジェイクのクラスメートとして，生活の問題点と改善策を示して助言するため，論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
	Lesson 7 異文化 What do you do after school?	部活動の違い：日本とアメリカの部活動の形態についての学生同士のメール文を読んで，それぞれの部活動の特徴や違いを理解する。 表現 物事の正負の影響 (Positive and negative affects)：物事の正負の影響に関する表現を理解し，場面や状況，目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと]：アメリカの部活動と日本の部活動の形態のどちらが良いと思うかについて，自分の経験を踏まえて，自分の意見を理由や具体例などとともに，論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
	Lesson 8 異文化 Direct and indirect ways of communication	コミュニケーションの方法：2つのコミュニケーション文化（高コンテキストと低コンテキスト）について話される講義を聞いて，それぞれの特徴や違いを理解する。 表現 差異 (Differences)：差異を表す表現を理解し，場面や状況，目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと]：日本人にとって，高コンテキストのコミュニケーションが有益かどうかについて，自分の考えを理由や具体例などとともに，論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
	Lesson 9 情報化社会 Should we use social media? Lesson 10 情報化社会 Are you a good user of social media?	SNS の好影響と悪影響：SNS のプラス面とマイナス面について書かれた記事を読んで，SNS が日常生活に与える影響について考える。 表現 類似 (Similarity)：類似を表す表現を理解し，場面や状況，目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと]：SNSの使用のメリットとデメリットについて，自分の考えを理由や具体例などとともに，論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。 SNS 上のトラブル：学生に頻発する SNS 上のトラブルについて話される講義を聞いての問題点や予防のために必要なスキルを理解する。 表現 理由 (Reasons)：理由を表す表現を理解し，場面や状況，目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと]：SNSの適切な使用を奨励するために，自分の考えを理由や具体例などとともに，論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。

3 学 期	Lesson 11 社会構成 Lifetime employment or career changes?	終身雇用と転職：終身雇用と転職の比較について、オンラインでやり取りされる生徒同士のやり取りを読んで、現状や傾向を理解する。 表現 可能性 (Probability)：可能性を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと]：日本の終身雇用と転職について、どちらの立場を支持するかの意見を理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
	Lesson 12 社会構成 Diversity in the workplace	職場の多様性：テレビ番組のジャーナリストが多様性の促進について話すのを聞いて、日本の職場で起こり得る多様性と現状を理解する。 表現 情報の追加 (Further Information)：情報の追加を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ [書くこと]：社会の多様性について、どのような場所で求められ、どのように促進するのかという点を含めて、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。
	Lesson 13 経済 The rise of the cashless society	キャッシュレス社会：電子決済システムについて発表するため、キャッシュレス社会に関する記事と投稿を読んで、その利点と欠点を理解する。 表現 対照 (Contrast)：対照を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 スピーチ [話すこと (発表)]：電子決済システムのメリットとデメリットについて、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝える。
履修条件・ 注意事項等		【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：4：3 【評価母集団】3学年国際教養コース 3年1月考査は実施しないこととする。

履修条件・	・毎回の復習が求められる。
-------	---------------

注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝３：４：３ 【評価母集団】３学年文系および国際教養コース選択者【評価母集団】３学年文系および国際教養コース選択者 ３学期（１月）考查は実施しない。
-------	---

教科	外国語	科目	実践オーラル英語	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系・国際教養コース選択者
教科書・副読本		・ 共通テストリスニング分野別10min. ・ 共通テストリスニング実践30分×8回							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 英語を聴き、内容を正しく理解し、英語でコミュニケーションをとることができる。					知識・技能 授業内小テスト				
思考力・判断力・表現力 聞き取った英語をもとに、自分の考えや意見を相手に正しく伝えることができる。					思考力・判断力・表現力 ディクテーションによる書き取りテスト 自己表現活動				
主体的に学習に取り組む態度 新出単語、熟語を主体的に習得する。求められた課題に熱心に取り組み、努力の姿勢を示すことができる。					主体的に学習に取り組む態度 授業態度 授業への出席 提出物				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）						
1学期	第1・2・3回 第4・5回 第6・7回 第8・9回 第10・11回 第12・13回 第14・15回 第16・17回 第18・19回 第1回問題演習		展開を予測しながら英語を聞き、内容を理解する力を養う。日常生活の様々な場面で使用する英語を習得し、聞き取った英語を正確に書き取る能力を身につける。 ・ 短文発話、対話内容の一致選択の練習 ・ モノローグの聞き取り、図表完成、条件一致 ・ 講義の聞き取り、ワークシート完成の練習 ・ 会話内容の一致選択の練習 ・ 基礎的な表現や、位置に関する表現の聞き取り ・ 数に関する表現の聞き取り、英文を聞いての行動予測の訓練 ・ 英文を聞いての場面や状況の把握、談話標識の理解 ・ 論理的な英文を聞いての内容理解 ・ 賛成、反対の代替表現						
2学期	第20・21回 第22・23回 第24・25回 第26・27回 第28・29回 第2回問題演習 実践演習		会話や特定の場面設定、時事問題など様々な状況での英語を聞き、それぞれの状況を理解し、正しい情報を選択する能力の育成を目指す。折に触れ、英文のリピーティングやシャドーイングなどを行い、自分で発声することによってリスニング力を高めることを意識する。 ・ 応用表現 割合、位置に関する英文を聞く ・ 会話文における短縮形の英語の聞き取り練習 ・ 談話標識を理解した上で英文を聞き取る練習 ・ 講義を聞いてのワークシート記入の練習 ・ 助動詞の過去形の理解、否定疑問文の答え方の練習 共通テストに向けて、実際の問題を演習形式で解答し、実力を養成する。英語の支持を正確に理解し、それに応答できる能力を養う。						
3学期	第3回問題演習 第4回問題演習		様々な状況下の英文を聞き、内容を正しく理解する。共通テストに向けてのより実践的な演習を行う。 30分の問題演習 30分の問題演習						

履修条件・ 注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：4：3 【評価母集団】3学年文系および国際教養コース選択者 ・ 3年1月考査は実施しないこととする
----------------	---

教科	外国語	科目	英語表現探究	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系・LAC選択者
教科書・副読本		精選演習 英文法・語法問題 800							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 論理的な構成、適切な段落分け、明確な主張ができるライティング能力を身につけるために、各文法事項を理解し、様々な語彙を。					知識・技能 小テスト等 英語で表現するために必要な運用語彙、文法の小テスト				
思考力・判断力・表現力 特定のテーマに対してその情報を分析し、独自のアイデアを発展させ、ユニークかつ創造的な方法で分かりやすく表現する能力を身につける。					思考力・判断力・表現力 実技・課題 英語でエッセイを書くことを目指し、様々な英文の構造を理解し、それらを使って様々な英文を作る。				
主体的に学習に取り組む態度 主体的に既習の文法事項を理解しようとし、新出語彙を習得する。求められた課題に熱心に取り組み、努力の姿勢を示すことができる。					主体的に学習に取り組む態度 授業に対する積極的な参加と協力 提出物				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1学期	第1章		時制						
	第2章		受動態						
	第3章		助動詞						
	第4章		仮定法						
	第5章		不定詞						
	第6章		動名詞						
	第7章		分詞						
	第8章		準動詞						
2学期	第9章		動詞の語法						
	第10章		関係詞						
	第11章		比較						
	第12章		疑問詞						
	第13章		否定・強調・倒置・省略						
	第14章		動詞のイディオム						
	第15章		名詞の語法・イディオム						
	第16章		代名詞の語法						
	第17章		主語と動詞						
	第18章		前置詞						
	第19章		接続詞						
3学期	第20章		形容詞の語法・イディオム						
	第21章		副詞の語法・イディオム						
	第22章		会話表現						
			・自由英作文③ 自ら定めたテーマについて創造力を活かして説得力のあるエッセイを書くことができる。						
履修条件・注意事項等			【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：4：3 【評価母集団】 3学年選択者（文系・LAC） 3年1月考査は実施しないこととする。						

教科	外国語	科目	Integrated English	単位数	2 単位	学年	3 年	履修対象	LAC 選択者
教科書・副読本		プリント、視聴覚教材など							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 現代が抱える課題について調査、分析をして探究する。その過程で得られた外国語の知見を正しく理解した上で、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。						知識・技能 語彙小テスト 発表 ライティング			
思考力・判断力・表現力 活動に英語を使って参加する過程で、自分の持つ考えを英語で書く、英語で話すことを通じて表現し、相手に伝える力を養う。						思考力・判断力・表現力 グループワーク ディスカッション 発表			
主体的に学習に取り組む態度 英語で発表する活動を行う過程で、聞き手、話し手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にコミュニケーションを図る態度を養う。						主体的に学習に取り組む態度 授業態度 提出物			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	英語の文章・映像等の読解・理解		・英語を使ったコミュニケーションゲームを行い、グループごとに評価を行う。 ・自分の得意なことについて英語で教える活動を行い、その指導と生徒の習得状況を評価する。 ・英語のニュースを視聴し、語いや内容についての理解を確認し、グループ内で意見を出し合い、全体で発表する。 ・自分たちになじみのない国についてグループで調べ、旅行計画をたて、発表を行い、発表について質問をし合う。 ・自分が行った発表について、学んだこと、感想などを振り返りエッセイに書く。						
	歴史、地理など様々なテーマの調べ学習、発表活動、質疑応答活動								
2 学期・3 学期	英語の文章・映像等の読解・理解		・様々な分野の英語のプレゼンテーションやスピーチを聞いて、グループ内でその内容をまとめ、意見を述べあう。 ・自分の進路希望や志望理由について英語で発表できるようにする。グループ内で、生徒役と面接官になり、そのやり取りを互いに評価する。 ・自分に影響を与えた人物や歴史上の人物や出来事について、調べて発表し、内容に関しての質疑応答を行う。 ・世界で起こっている問題について、グループでテーマを絞って探究し、考察、意見交換を行い、全体で発表する。						
	調べ学習、発表活動、質疑応答活動		内容に関する質疑応答後、エッセイライティングを行う。 ・自分が行った発表について、学んだこと、感想などを振り返りエッセイに書く。						
履修条件・注意事項等		ALT と合同で授業を行う。ペアワーク、グループディスカッション、発表等の活動に積極的に参加することが求められる。 【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 3 ： 4 ： 3 【評価母集団】 3 学年選択者（国際教養コース） 定期考査は行わず、授業内の活動や提出物で成績を算出する。							

履修条件・ 注意事項等	ALT と合同で授業を行い、フランス語でのコミュニケーション活動を行う。 【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：4：3 【評価母集団】 3 学年選択者（文系・国際教養コース） 3 年 1 月考査は実施しないこととする。
----------------	---

教科	外国語	科目	フランス語Ⅱ	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	国際教養コース選択者
教科書・副読本		新装カフェ・フランス		朝日出版					
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 フランス語で書かれた文章を読み、フランス語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きを理解するとともに、実際にフランス語でコミュニケーションを図ることができる技能を身につける。					知識・技能 定期考査 小テスト				
思考力・判断力・表現力 フランス語で書かれた文章を読み、概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を的確に理解し、適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。					思考力・判断力・表現力 定期考査 小テスト グループワーク プレゼンテーション				
主体的に学習に取り組む態度 フランスやフランス語圏が抱える課題について探究し、その背景にある文化への関心をより深めた上で、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。					主体的に学習に取り組む態度 授業態度 提出物				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1学期	自分が好きなことと嫌いなことを言う 自分の得意なスポーツについて話す 目的地までの道を尋ねる		- フランス語語彙小テスト - フランスの文化について知り、自己の意見をまとめる - フランス語で書かれた実用的な文章を読む - 自分の好きなもの、嫌いなものを考え、それをフランス語で伝える - 自分の得意なスポーツについて考え、それをフランス語で発表する - 目的地までの道順の尋ね方、教え方を学習する。実際に、本校の最寄り駅である阪急逆瀬川駅周辺の地図を用いて、フランス語で実演を行う						
2学期	提案の方法、提案の承諾、拒否の仕方 休暇の計画を立てる		- フランス語語彙小テスト - フランス語を公用語とするフランコフォニーの国々の文化について知り、自己の意見をまとめる - フランス語で書かれた実用的な文章を読む - 提案をする方法、提案の承諾、提案の拒否の仕方を学習し、フランス語でロールプレイを実演する - 自分の長期休暇中の予定を立て、フランス語でまとめる。スライドにまとめ、発表する						
3学期	まとめ		1年間の授業を通して、フランスとフランス語圏の文化社会について新しく発見したことをまとめ、フランス語で発表する						
履修条件・注意事項等		ALTと合同で授業を行い、フランス語でのコミュニケーション活動を行う。 【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝3：4：3 【評価母集団】 3学年選択者（国際教養コース） 3年1月考査は実施しないこととする。							

教科	体育(専)	科目	スポーツⅡ	単位数	2単位	学年	3年	履修対象	文系・LAC 選択者
教科書・副読本		新高等保健体育（大修館）図説現代高等保健（大修館）							
育成する資質・能力					評価の方法				
知識・技能 運動の多様性や体力の必要性について理解する能力 各運動の技能 思考力・判断力・表現力 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力 主体的に学習に取り組む態度 一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲 生涯にわたって継続して運動に親しむ態度					知識・技能 実技試験 思考力・判断力・表現力 各運動における競技力向上のための探究活動 主体的に学習に取り組む態度 授業への取り組み グループ活動（試合形式やグループ練習）				
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 ・ 2 ・ 3 学期	体づくり運動		・ 自他の心と 体に向き合って，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，心と体をほぐしたり，体の動き を高める方法を学んだりすることができる。 ・ 自己の課題と体調に応じて適切な練習方法を選ぶことができる。陸上競技を継続して楽しむための自己に適したかわり方を見付けることができる。 ・ 提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘することができる。 ・ スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする						
	陸上競技								
	球技								
	体育理論								

履修条件・ 注意事項等	学校指定体操服 【観点別評価】 (知識・技能) : (思考力・判断力・表現力) : (主体的に学習に取り組む態度) = 4 : 4 : 2 【評価母集団】 選択者全員(文系、国際教養コース)
----------------	---

教科	家庭（専）	科目	保育基礎	単位数	2 単位	学年	3 年	履修対象	文系・LAC 選択者
教科書・副読本			保育基礎（実教出版）						
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 子どもの発達の特性，生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。 保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。						知識・技能 定期考査・提出物など			
思考力・判断力・表現力 子どもの発達をふまえ，現状について見直し，課題を見付け，その解決を目指して思考を深め，適切に判断し，工夫，創造する能力を身に付けている。						思考力・判断力・表現力 定期考査・提出物・討議・発表など			
主体的に学習に取り組む態度 子どもについての関心を持ち，意欲的に学習に取り組む，子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとする実践的な態度を身に付けている。						主体的に学習に取り組む態度 定期考査・授業にとりくむ姿勢，提出物・討議・発表など			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	1 章 子どもの保育 保育の意義 保育の環境		・乳幼児期の発達の重要性を知る。 ・乳幼児期の生理的特徴を知る。 ・家庭保育・集団保育の意義と形態・保育内容について知る。						
	4 章 子どもの文化 子どもの遊びと発達		・乳幼児の生活習慣や遊びなどについて理解する。 ・保育検定 3・4 級の対策と受験（絵本の読み聞かせ，折り紙造形表現） 定期考査・個人製作および授業への取り組みにより評価を行う。						
2 学期	2 章 子どもの発達		・運動機能・感覚機能・情緒な身体と心の発達をとらえる。 ・愛着関係の形成過程について学び，人間関係の広がりについて考える。						
	3 章 子どもの生活		・乳幼児の健康管理や事故防止について知る。 ・保育所への訪問実習について，内容を企画し，運営を行う。 定期考査・集団製作および授業への取り組みにより評価を行う。						
3 学期	5 章 子どもの福祉		・子どもが健全に育つために必要な支援を考える。 定期考査・個人製作および授業への取り組みにより評価を行う						
履修条件・注意事項等		実習費 1,800 円程度（保育実習保険代・保育検定受験料を含む）が必要 【観点別評価】 （知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】 3 学年選択者（文系・国際教養コース） 1 月考査は実施しないこととする。							

教科	家庭（専）	科目	フードデザイン	単位数	2 単位	学年	3 年	履修対象	文系・LAC 選択者
教科書・副読本		フードデザイン（実教出版）							
育成する資質・能力						評価の方法			
知識・技能 食事の意義と役割について理解するとともに、豊かな食事を構成する要素として栄養・食品・料理様式と献立・調理テーブルコーディネートなどに関する知識を習得することができる。 調理・テーブルコーディネートなどに関する技術を習得することができる。						知識・技能 定期考査・実技テスト・提出物など			
思考力・判断力・表現力 自分自身の食生活や、食環境が大きく変化している現状に課題を見つけ、思考を深める。また、考えをまとめて判断ができる。						思考力・判断力・表現力 定期考査・提出物・討議・発表など			
主体的に学習に取り組む態度 食の役割に関心を持ち、作ることから食べるところまでを総合的にとらえて計画する意欲と実践的な態度を主体的に身に付けようとする。						主体的に学習に取り組む態度 定期考査・授業にとりくむ姿勢、提出物・討議・発表など			
期間	単元		主な学習活動（指導内容）と評価のポイント						
1 学期	3 章 食品の特徴・表示・安全 4 章 調理の基本 6 章 調理実習		・食品の特徴，調理上の性質及び調理による成分の変化についての知識を習得することができる。 ・基本的な調理とテーブルコーディネートなどに関する技術を習得することができる。 定期考査・個人製作および授業への取り組みにより評価を行う。						
2 学期	1 章 食生活と健康 2 章 栄養素のはたらきと食事計画 5 章 テーブルマナーとコーディネート 献立作成と調理実習		・栄養と消化について学ぶ。 ・食を取り巻く現状について理解し，課題解決の方法を考える。 ・食中毒や衛生の知識を深め，衛生と安全に配慮した調理ができる。 ・よりよい食品を見極め，購入できる力を身につける。 ・様式別の食卓構成や作法，供応に伴うマナーを身に付けることができる。 ・具体的な食事でテーマを設定し，その目的に応じた献立作成、適した食品の選択，適切な調理を計画し，実践できる。 定期考査・集団製作および授業への取り組みにより評価を行う。						
3 学期	7 章 食育		・食についての課題を見出し，その解決を目指した食育活動に思考を深める。 ・伝統食・行事食について学ぶ。						
履修条件・注意事項等		実習費 5,000 円程度が必要 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝4：4：2 【評価母集団】3 学年選択者（文系、国際教養コース） 1 月考査は実施しないこととする。							

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝ 5：3：2 【評価母集団】3学年選択者（理系・文系・国際教養コース） ※1月考査：実施しない。
------------	--